



日本共産党

北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://kyoukita.jp/nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.303 2014.4.30

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は 090-2156-3510
お気軽に

特定整備路線 補助86号線

道路計画の見直しを

計画地の地元住民らが東京都建設局に2740筆分の署名を提出



補助86号線(赤羽西)の計画中止を求める署名を都の担当者に手渡す地元住民ら。左端は、そねはじめ都議 = 4月30日、都庁内

4月30日、特定整備路線補助86号線計画の中止を求める地域住民らが東京都庁を訪れ、計画の見直しを求める署名を都に提出しました。

署名は、静勝寺のよびかけによる計画中止を求めたもの1528筆分と「道路を考えるネットワーク86号線住民提出に際し住民らは、「稲付城跡や公園を貫通し、自然環境が著しく破壊される」「地元で暮らしている多くは高齢

者。環境の変化は命にもかかわる。6年以内に立ち退けというのは理不尽だ」「都は『防災』のためだとしているが、国交省の『都市防災ハンドブック』が示す要件すら満たしていない。延焼遮断帯にはならない」などのべ、計画の見直しを求めました。

これに対し都建設局の久野健一郎木密路線整備推進担当課長は「100%効果があるとはいえないが、やれることをやるのが都の仕事」などと答えました。

署名提出にあたり、そねはじめ都議、さがらとしこ、のの山けん、ながいともこの各区議が同席しました。

補助86号線計画とは

都がすすめる幅員20mの特定整備路線のひとつで、志茂地域と赤西地域にまたがる。「防災」を名目としているが、稲付城跡や自然観察公園、スポーツの森公園を貫通、自然破壊などが懸念されている。



これでいいのか 自治体民営化

第38回自治体
政策セミナー

公共施設再配置・指定管理者制度を考える

4月26日、27日の両日、日本教育会館で第38回自治体政策セミナーが開かれ受講しました。今回は、自治体財政をめぐる現況や公共施設再配置計画、自治体民営化の問題について学びました。(のの山けん)

初日は、立命館大学の森裕之教授が「自治体財政を巡る現況と課題をどう読み解くのか」と題して講演。政権交代によって復活した安倍内閣が、生活扶助費と公務員給与を削減する一方、「国土強靱化」の名で大型公共事業に巨額の税金を投入している実態を告発しました。

公共施設の原点に立ち返って

公共施設の維持管理・再配置計画にどう対処するか、という問題には「住民の暮らしを経済的、社会的、文化的な側面から総合的に支えるのが公共施設



森裕之立命館大教授の講演

の目的」と強調。経済効率だけで削減、統廃合しようとする傾向に警鐘を鳴らし、原点に立ち返って「公共」の意味を問い直すことが必要だと指摘しました。

公務の現場を 搾取の舞台に

2日目は「自治体民間化の現況と課題」をテーマに、八王子合同

法律事務所の尾林芳匡弁護士が講演。指定管理者制度やPFI、国家戦略特区、市場化テストなどの手法について詳しく解説した上で「営利企業にまかせる」と職員は必ず非正規・派遣化する。人件費を圧縮し利益を確保、つまり公務の現場を搾取の舞台にするのが自治体民間化の本質だ」と指摘しました。

セミナーでは足立区の窓口委託の現状についても報告されました。



尾林芳匡弁護士の講演

5月 9日(金)午後6時～8時
5月10日(土)午前10時～12時
5月11日(日)午後2時～4時

今回の募集は、家族向・単身者向・定期使用住宅・若年ファミリー向です。相談の際は、申込み用紙と収入がわかるもの(源泉徴収票、確定申告書など)をご持参下さい。

詳しくは、☎090-2156-3510(のの山)まで。上記の時間以外にも、個別相談に応じます。



※会場はいずれも
のの山けん事務所です。

都営
住宅

入居申込
相談会